

志賀町 GX 産業団地産業振興構想策定に関する サウンディング調査及び支援業務委託仕様書

1 業務名

志賀町 GX 産業団地産業振興構想策定に関するサウンディング調査及び支援業務委託

2 背景・目的

志賀町では、令和 8 年 3 月に策定された第 3 次総合計画において、令和 6 年能登半島地震からの創造的復興を新たな成長の原動力へ転換していくことを目的として、「地域が稼ぐ事業」、「ビジネスエコシステム」「地域課題解決型事業」という 3 つの要素を中核に、総合的かつ連携した取組を推進している。

その中で、国及び石川県、町内外の企業・大学・研究機関等と連携しながら、GX・データセンター・フィジカル AI 等を産業集積のテーマとする GX 産業団地を新たに整備し、当該団地を起点とした志賀町の産業振興に取り組んでいくこととしている。

本業務は、次年度に予定する当該産業振興構想の策定に先立ち、企業のニーズ把握、大学等との連携体制構築について可能性を探るため、企業へのサウンディング調査及び産業振興に関する構想策定の支援について専門的な知見と豊富な実績を有する優れた事業者を選定し、業務委託を行うものである。

3 業務期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 15 日まで

4 業務内容

本事業では、企業へのサウンディング調査等を実施するとともに、次年度に予定する①産業振興構想策定、②産学官連携体制構築、③戦略的誘致活動の本格実施に繋がる取組を実施する。

主な業務内容は以下に示すが、詳細は発注者との協議により決定する。

(1) 企業へのサウンディング調査実施

ア 企業誘致仮説・ヒアリング資料の設計

志賀町 GX 産業団地の現状及びインフラや資源調達等の制約を踏まえ、脱炭素電源活用や資源循環等を通じた GX・データセンター・フィジカル AI 等をテーマとする産業集積についての仮説を整理の上、企業へのヒアリング内容を設計し資料を作成する。

イ ヒアリング対象先の選定

志賀町及び石川県との協議の上、ヒアリングの対象とする企業等を検討・整理する。

ウ 企業サウンディングの実施

産業集積についての仮説資料をもとに企業のニーズ及び課題等をヒアリングの上、地域外企業を誘致するためのボトルネック等を把握する。

(2) 企業ニーズの分析及び論点整理

ア 企業ニーズの整理・中間提言

企業の声を整理し、誘致仮説の可能性・課題を分析するとともに、次年度予算要求に向けた中間提言を取りまとめる。また、有望な誘致先・優先領域を整理の上、次年度の本格誘致活動に向けた論点を整理する。

(3) 石川県及び大学等との連携に向けた調整

ア 誘致目標・成果イメージの設定

志賀町 GX 産業団地を起点とする産業振興における雇用、人口流入、設備投資、経済波及効果等の目標を仮設定する。

イ 石川県及び大学等へのヒアリング

石川県や大学等に企業ニーズ及び誘致仮説を共有し、連携可能性や役割分担、国の施策との接続等についてヒアリングや意向確認を行う。

(4) 次年度の方方向性整理

ア 次年度ロードマップ・誘致方針の整理

国の地域未来戦略における「戦略産業クラスター計画」及び「地域産業クラスター計画」の内容も踏まえて、次年度の産業振興構想具体化に向けた方向性と戦略的企業誘致の本格実施のロードマップを整理する。

(5) 事業実施スケジュール（予定であり参考とする）

11 月：企業へのサウンディング調査実施

12 月：企業ニーズの分析及び論点整理

12 月中旬～1 月中旬：石川県及び大学等との連携に向けた調整

1 月～2 月：次年度の方方向性整理

【令和 9 年度】志賀町 GX 産業団地産業振興構想策定

5 成果品

- (1) 産業振興構想策定に係るサウンディング調査等報告書 電子データ一式
- (2) 次年度予算要求に向けた中間提言資料 電子データ一式
- (3) 次年度ロードマップ及び誘致方針資料 電子データ一式
- (4) 各業務議事録 電子データ一式
- (5) その他、町の求めに応じて随時報告を行うこと

6 その他

- (1) 受託者は、関係法令遵守の上、本運行業務を遂行すること
- (2) 本仕様書は、本運行業務を遂行する上で最低限必要なものであり、受託者の専門的な立場から将来の技術革新を見据え、効果的な提案がある場合は、積極的な提案を行うこと
- (3) 本仕様書に記載のない事項については、委託者および受託者双方で協議の上、決定すること
- (4) 調査終了後、報告書の内容について内閣府から問い合わせや根拠資料の提出要求があった場合や、会計検査の際等には適宜対応・協力すること